

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☐ はたす
活動名	インターンシップ
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	3学年
ねらい	社会と関わる中で働くことの厳しさと充実した喜びを感じ取り、望ましい勤労観や職業観を養う。 また、生徒が描いている製造業のイメージと実際の仕事との違いを認識させることで、より自分に適した職業選択ができることを目指す。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

地元企業でインターンシップを行うことにより、地域の人々や社会と関わる中で社会性や勤労観を養う。
また、自分の希望した企業で実際に働くことにより、自己の職業適性について考える機会とする。

〔活動内容〕

1 インターンシップ実施企業の選択について

インターンシップを行う企業の事業内容を調べる。

また、実施企業との打合せをし、事前に行うべきこと等について確認をしたうえで、インターンシップが充実したものとなるよう十分な準備を行う。

2 インターンシップについて

それぞれの受け入れ先企業において実際に働くことで社会性や勤労観を養う。

また、体験した作業内容や、業務内容と自分がイメージしていたものとの違いについて確認することにより職業選択の参考とする。

3 実習記録をまとめる

三日間の実習期間の日誌を書き、受け入れ先企業の担当者に確認してもらうことで、自分の足りない所や卒業までに身に付けるべきことを知り、社会人になるまでに準備しなくてはならないことを主体的に考えさせる。

〔自分・未来をみつめ志をもたせるために〕

学校と地域企業が一体となり、近い将来地域の発展を担う生徒たちが社会性を身に付けたり、勤労観を養うことで地域に有為な人材の育成を図っている。また、実際に働いてみることで業務内容等を体験し将来の職業選択の一助とすることで早期離職の防止に努める。



企業実習の様子①



企業実習の様子②